

令和8年度の学校経営について

1 学校教育目標 「 賢く 強く たくましい 児童生徒の育成 」

建学の理念 「含英」

含英咀華(がんえいしょか)

文章のよい部分をしっかりと味わって、それを理解して身に付けること。

「含」は口に含むこと。「英」と「華」はどちらも花のこと。「咀」はよく味わうこと。

すぐれた文章を花にたとえた言葉で、花を口に含んで味わうという意味

「 賢 く 」とは、単に知能に優れ知識が豊富なだけでなく、物事の道理を正しく判断し適切に処理できる知恵があること。【知】

「 強 く 」とは、物理的な力が大きいとか身体が丈夫で機能的に優れているだけでなく、精神力の在り方いわゆる耐える力があること。【体】

「たくましい」とは、粘り強さと優しさ、しなやかな心を兼ね備えていること。【徳】

2 めざす児童・生徒像

蔵王の魅力を探究し、ふるさとを誇りに思う子ども

多様性を受け入れ、国際的な視野で未来を創造する子ども

いのち輝く自他の存在を認め、自己実現に向けて挑戦する子ども

育成したい資質・能力	○課題発見力	○調整力	○発信力
------------	--------	------	------

3 めざす学校像

(1) ウェルビーイングを目指して児童生徒と教職員ともに挑戦する学校

(2) 一人一人が明るい笑顔で心身共に澁刺としている学校

(3) 地域に愛され、信頼される学校

4 めざす教師像

(1) 子どもに寄り添い力を伸ばす教師

(2) 心身ともに健康で人間性豊かな教師

(3) 高い志を持ち、学び続ける教師

5 経営の重点

(1) 極少人数の特性を活かし、「好き」を育み「得意」伸ばす授業づくりに努める。

(2) 蔵王を知り、蔵王を大切にし、地域の一員という自覚をもって蔵王の未来を考える教育活動の充実を図る。

(3) 地域と社会に貢献する活動を充実させ、子どもたちの自尊感情を高める。

(4) 日常的に危機管理意識を持ち、安全で安心な生活ができる学校づくりに努める。

(5) 働きやすくやりがいを感じられる職場づくりに努め、創造的で持続的な教育活動を展開する。

6 具体的な取組

(1) 確かな学力の育成

- ①探究的な学習の推進
- ②各教科等で育成すべき資質・能力を的確に捉え、ねらいを明確にした授業づくりを行う。
- ③少人数のよさを生かし、一人一人の特性を生かした個別最適な学びを追究する。
- ④ICT機器の活用や他校との交流など、協働的な学びを目指して工夫する。
- ⑤実践的な英語力の育成

(2) 蔵王の未来を考える教育活動の充実

- ①総合的な学習の時間を中心として、蔵王でしかできない学びを推進し、蔵王のよさを発信する力や他者と調整したり交渉したりする力を育成する。
- ②地域との繋がりを広げ、多様な人との関わりを通して、国際社会の一員としての自覚を高める。
- ③コミュニティ・スクールとして子ども参加型の学校運営協議会を目指し、蔵王の未来を共に考える機会を充実させる。

(3) 社会性・自尊感情の向上

- ①蔵王クリーン作戦や地域清掃活動など、地域に貢献する活動を積極的に行う。
- ②自ら考え、行動し、振り返るなど、主体的に取り組む異年齢交流活動を意図的に取り入れる。
- ③スクールカウンセラー等の活用により、教育相談を充実させる。

(4) 安全で安心な学校づくり

- ①心理的安全性の確保に努める。
- ②蔵王ならではの環境に対応した安全管理に努めるとともに、保護者や地域と連携した取組を工夫し、意識の共有を図る。
- ③避難訓練や防災学習など、実感を伴う体験的な取組みを通して、職員及び児童生徒の危機管理意識を高める。
- ④自他の健康に配慮し感染症等の予防に努めるとともに、スポーツを楽しむ健康な身体作りに努める。

(5) 働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

- ①子どもと語る会を充実させ、共に教育課程を創造していく。
- ②職員同士のコミュニケーションを大切にし、協働的な職場づくりに努める。
- ③一人一人が学校づくりへの参画意識を持ち、極小規模校だからこそできる教育活動を追究する。